

12/10 (土) 16:00-18:00

名城大学天白キャンパス

共通講義棟北N203教室

名古屋市天白区塩釜口1-501

名古屋市営地下鉄鶴舞線塩釜口駅（1番出口から徒歩8分）

【入場無料】（公共交通機関をご利用ください）

シンポジウム

競技のおもしろさを支える スポーツ科学

<登壇者>

佐々木 康 名古屋大学教授

クラブ組織論からみる競技力：ラグビーを例に（仮題）

JOCナショナルコーチアカデミー・スクールマスター、日本ラグビー協会競技力向上委員会情報科学部門長、JISSスポーツ科学センター情報科学部研究情報プロジェクトメンバー等を務め、ラグビーを国際競技力の分析および組織形成論の立場から研究

三宅 恵介 中京大学助教

ルールの変化は競技内容にとめように影響するのか
：柔道を例に（仮題）

JOC強化スタッフ（柔道競技・情報戦略）、全日本柔道連盟強化委員会科学研究部、リオ五輪日本代表柔道チーム情報戦略スタッフ。全日本柔道選手権大会に国際柔道連盟試合審判規定が導入されたことによる競技内容の変化を研究、自身も競技を継続

田淵 規之 ミズノ株式会社研究開発部

スポーツ用具が変化させる「スポーツのおもしろさ」(仮題)

要素技術研究開発課研究員。バットやゴルフクラブをはじめとするスポーツ用具全般を対象とした、用具の性能やユーザーの感覚などに関する基礎研究を担当

コーディネーター：来田享子 中京大学

主催 東海体育学会

<http://tspe.jp/>

2016

東海体育学会
研究セミナー